

## 記載方法

- 申請書の様式は厚生労働省ホームページ「感染症法に基づく特定病原体等の管理規制について」(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou17/03.html>) からダウンロードして使用してください。
- 申請用紙の大きさはA4としてください。
- 申請書は、事業所毎に作成します。（例えば、大学であって、同一敷地内に医学部、農学部があり、病原体等の管理体制がそれぞれ異なる場合は、それぞれにおいて申請が必要になりますので、事業所の名称欄に学部名まで記載するなど区別できるようにしてください。）
- 複数の二種病原体等を所持しようとする場合であっても、1回の申請で差し支えありません。
- 初回の申請後、新たな種類の二種病原体等を追加所持しようとする場合には、「二種病原体等所持許可変更許可申請書（別記様式第七）」により届け出てください。

### 1. 申請年月日

申請する日を記載してください。郵送等の場合は、投函日を記載してください。

### 2. 申請者氏名

所持する者が個人の場合はその氏名を、法人の場合は法人の名称及び代表者の氏名を記載し、押印してください。なお、署名した場合は押印を省略できます。

各部局等の名称が入った知事印又は市長印については、公印規程等により印影が登録されていることを確認できる書類を添付することにより申請者の印とすることも差し支えありません。

### 3. 申請者住所

所持する者が個人の場合はその住所を、法人の場合はその所在地を記載してください。

### 4. 二種病原体等の種類（毒素にあつては、種類及び数量）

所持しようとする二種病原体等の種類を記載してください。和名（法令上の記載名）、別名（法令上の別名）又は学名（二名法によるラテン名）のいずれかで記載してください。また、毒素の数量は、ローリー法によるBSA相当量としての重量（mg）や生物活性試験におけるデータ等から、当該事業所で取扱う予定の最大取扱量を記載してください。（注：最大取扱量を超えて所持すると無許可と判断されますのでご注意ください。）なお、ボツリヌス菌のみの申請であっても、ボツリヌス菌の使用によりボツリヌス毒素は産生されることから、0.1mgを超えることがないことを示すようにして下さい。

複数種の所持について申請する場合であつて、記載欄に記載しきれない場合は、記載欄に「別紙記載」と記載し、別紙を添付し、申請書とホチキス留めしてください。

### 5. 所持の目的

検査、治療、医薬品又は検査キットの製造、試験研究のうち、（複数の二種病原体等を所持する場合はその種類毎に）目的とするものを記載してください。

### 6. 所持の方法

封入容器（試験管、バイアルなどの一次容器）、保存条件（室温、冷蔵、冷凍など）などを記載してください（複数の二種病原体等を所持する場合はその種類毎に）。

### 7. 事業所の名称